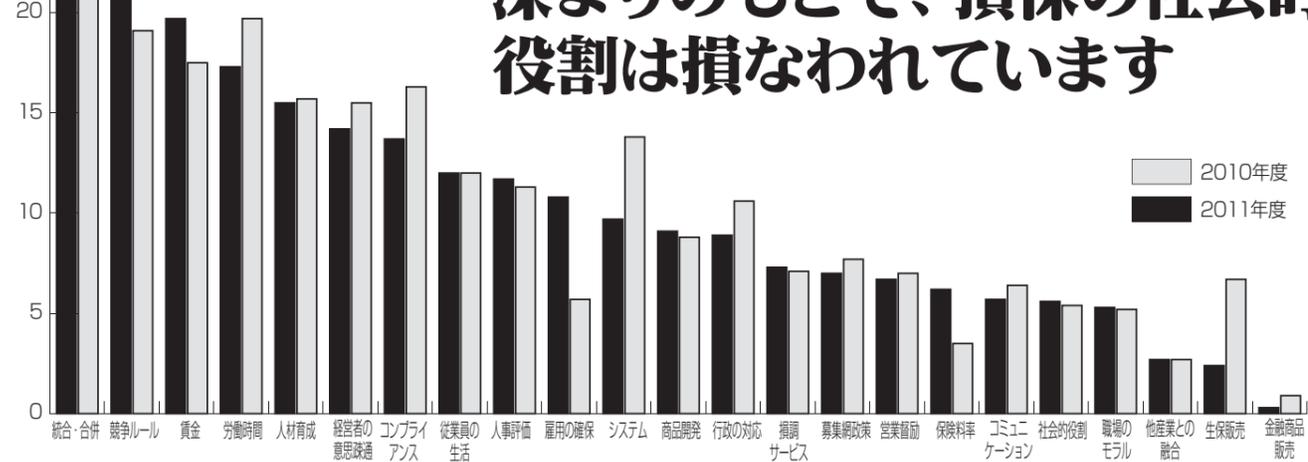


損保産業の社会的役割を守る

あなたがいま、損保産業で一番歪んでいると感じることは何ですか
(2011年春闘アンケートより)



再編「合理化」情勢第二幕の深まりのもとで、損保の社会的役割は損なわれています

＝問われる社会的役割＝
先行き不透明な再編「合理化」情勢のもとですむ圧倒的な寡占化と効率化とともに、収益力を競い合う競争が激化しています。そして、東日本大震災の甚大な被害は損保を直撃しており、そのもとで、社会的役割と無縁な損保産業が、労働者や募集網の犠牲を通じてつくられようとしています。「自由化」のもとでの競争が招いた「保険金不払い問題」という教訓を忘れず、さらには、東日本大震災という未曾有の事態を受けたいま、損保産業に問われているのは、力任せに競争するのではなく、本来の社会的役割に立って産業を再生する視点であり、損保に働く者の主張こそ将来を手にする鍵となります。
…全損保第68回定期全国大会議案より

- 秋のたたかいから
- 再編「合理化」情勢第二幕の動向を分析し、全体の主張と運動のベースにすていきます。
 - 積極的に、行政・経営の政策の把握・分析に努め、見解・声明の発表、行政・協会・経営への申入れをおこないます。

平和と民主主義を守る

人間を大切にする労働組合として奮闘

- 2011年度、全損保は、平和と民主主義を守る方針に沿って、核兵器廃絶、平和を守るとりくみを積極的におこないました。
- 3・1ピキニデーへの参加
 - 原水爆禁止2011年世界大会：広島8月5日～6日のとりくみ……慰霊碑めぐり、損保平和交流集会、損保慰霊祭 今後も、
 - 日本平和大会（11月25日～27日：沖縄）をはじめ、平和を守るとりくみへ積極的に参加していきます。

秋のたたかいスケジュール

10月

- 10月12日（水）第二水曜
全損保統一早帰り日
18日（火）本部オルグ（横浜、名古屋）
19日（水）本部オルグ（東京、広島）
20日（木）本部オルグ（大阪、秋田）
21日（金）本部オルグ（福岡）

11月

- 11月7日（月）～13日（日）
ヒューマンライフウィーク
9日（水）第二水曜
全損保統一早帰り日



- 11月11日（金）本部オルグ（札幌）
14日（月）～20日（日）
労働実態調査週間

- 18日（金）金融共闘統一行動日
19日（土）外勤部秋の学習会
23日（水・祝）賃金討論集会、
合対とりくみ交流会
25日（金）～27日（日）
日本平和大会：沖縄

12月

- 12月14日（水）第二水曜
全損保統一早帰り日
17日（土）～18日（日）
全国女性の交流集会

「全損保らしさ」をいかし 一人ひとりのために 労働組合の役割を発揮していこう



2011年秋のたたかい

第一次集中月間（11～12月）

「ルール」を守らせ、「歪み」を明らかにする

- ・ヒューマンライフウィーク 11月7日～13日
- ・労働実態調査週間 11月14日～20日
- ・第二水曜早帰り 10月12日、11月9日、12月14日（以降毎月実施）



全損保

2012年春闘構築

生活と労働条件に関するアンケート
(10月下旬～11月)

秋のたたかい職場討議資料 2011年10月～12月
全日本損害保険労働組合

秋のたたかいスタート

「一人一言運動」への結集を

「全損保らしさ」をいかし 一人ひとりのために 労働組合の役割を発揮していこう

私たちをとりまく情勢は

1. いまなお不透明な世界経済危機の様相と日本経済

○欧州債務危機とアメリカ財政悪化による世界連鎖の経済危機への危険性

・世界経済危機以降、各国が巨額の財政出動を行って危機回避をめざしたが、そのことにより国家財政自体が不安定となり、ギリシャ危機に端を発したユーロ圏での各国債務問題、アメリカの財政悪化によるドル安が顕著となり、株価の下落を引き起こし、世界全体を巻き込んださらなる経済危機の様相は深まっている。

○東日本大震災が直撃する日本経済

・3月11日発生の東日本大震災は、全産業的に甚大な被害をもたらした。
 ・10月になり、震災からの復興もなかなか進まず、円高や世界経済の不透明性などから、今後の見通しは不安定となっている。
 ・さらには、福島第一原発事故による第一次産業への影響は、「風評被害」とも相まって極めて厳しい状況に置かれ、被災地の復興にも影響が出ており、被災者のみならず、国民・労働者全体に閉塞感が漂っている。

2. 被災地の早期復興と原発事故への具体的な対応が進まない政治

○野田内閣が発足

・厳しい生活を余儀なくされている国民へ重くのしかかる復興増税論議、停止中の原発を稼働させる検討、財界やアメリカのさらなる圧力により、雇用や内需に大きな影響を及ぼすTPPへの参加検討、消費税増税の検討なども行われている。

○一方で、国民の「何とかして欲しい」という声は強まっている

・原子力政策に対する危機意識の増大などに見られるように「安心してくらしたい」という声は高まり、運動も広がっている。さらには、震災からの復興という国民の願いは一致しており、財界やアメリカの圧力とのせめぎ合いとなっている。=いまが歴史的転換点であることへの認識が必要

3. 損保では

○経営のかつてない危機感の増大と再編「合理化」情勢第二幕の深まり

・先行き不透明な経済と、震災関連の対応が迫られ、収益が圧迫されていることから、各社経営の危機感は強まっており、再編「合理化」情勢第二幕は先行き不透明に深まっている。
 ・そのもとで、人件費・物件費の徹底した削減、営業督促や適正査定に対する数値管理や個人責任追求が強ま

り、処遇は上がらないのに働き方が変えられ、情勢の「歪み」は働く者一人ひとりに被害を与え、これまでに以上に「将来不安」は高まっている。

○この現実をどうただしていくのか。視野広く、歴史観をもって、損保に働く者の声や思いに立ちきって、主張することが求められる。

4. たたかいの方向

○4つの視点=「人間らしさと一人ひとりの思いを大切にする」

「働く者が支え合う拠り所となる」

「自分たちのことは自分たちで答えを出す」

「自らの声をあげ、次の時代をきりひらく」を大事に

○私たちの明日を手にするために、働く思いを出しきる「一人一言運動」へ結集を

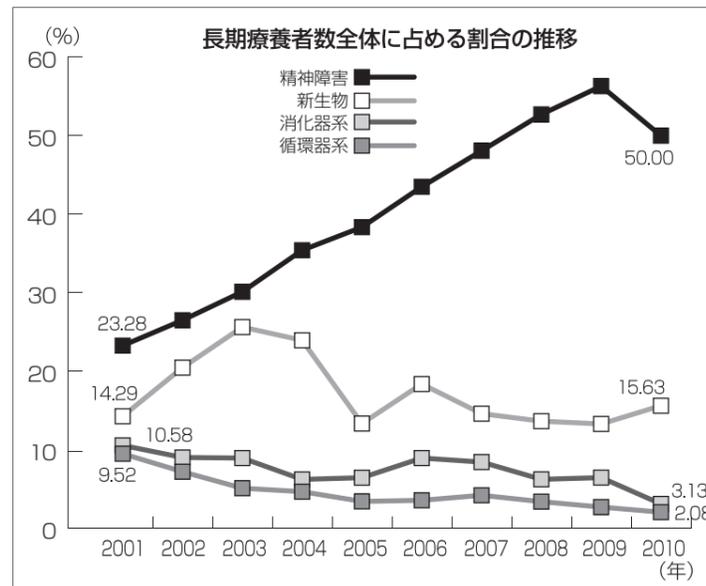
情勢が激変するいま、歴史的転換点にあるいま、働く者の声や思いを土台に、

「一人一言運動」を軸に、声や実態を集め、主張を職場に広げ、共感の力をつくっていこう

第一次集中月間のとりくみ

長時間過密労働の実態をはじめ職場の「歪み」を解消し、人間らしさをとりもどす

…様々な場を通して職場の実態、生の声を把握



「長期療養実態調査」(2011年7月)より

<「ルール」を守らせ、歪みの実態を明らかにする>

1. 職場の「生」の声や労働実態を正確に把握する

○労働実態調査週間 11月14日(月)～20日(日)
 ○「交流・共同の場」など、組合員が集まり語り合う場を設定し、「一人一言運動」を実践する

2. 長時間過密労働の実態をはじめ職場の「歪み」を具体的に解消する

○ヒューマンライフウィーク 11月7日(月)～13日(日)
 ○第二水曜早帰り日 10月12日、11月9日、12月14日
 ○実態改善に向けて、行政、協会、経営への申入れ・意見交換
 ○「36協定」をいかして、不払い残業を解消するようとりくむ

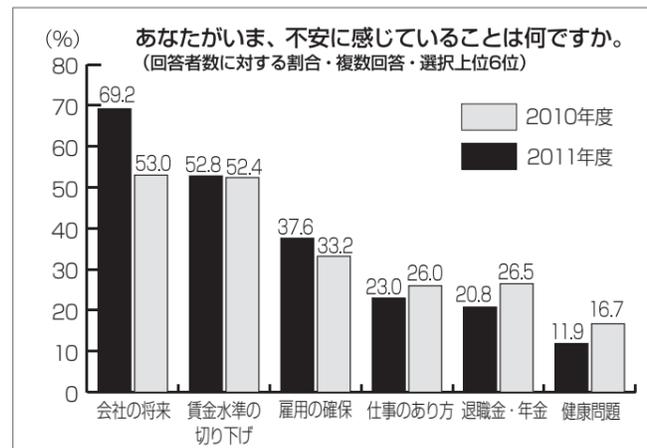
2012年春闘要求討議

2011年春闘の到達点と成果をふまえて、声と思いを洗い出し、要求と課題につなげる

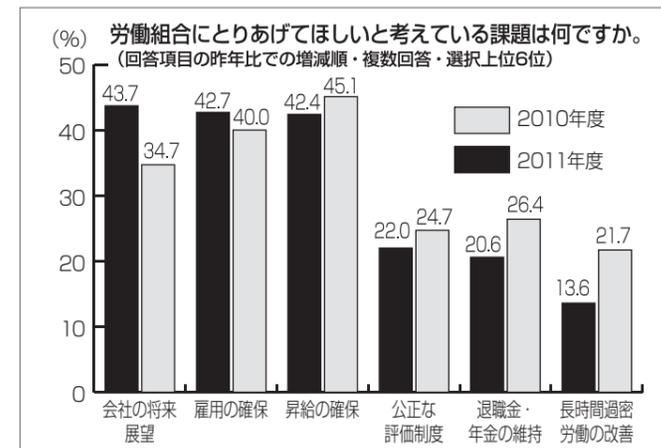
職場の声や思いから要求・課題を～賃金だけでなく、生活、労働、時間、家族、健康面など職場の声や要求を多面的に把握し、組合員が結集できる要求づくりにとりくみます。

今年度は、「生活と労働条件に関するアンケート」を「一人一言運動」にも連動させてとりくむこととします。

「生活と労働条件に関するアンケート(2012年春闘構築に向けて)」 10月下旬～11月中旬実施



「生活と労働条件に関するアンケート」(2010年11月)より



今を生きる声や思いを出し合う

「一人一言運動」が始まります

今の時代は

- この国の政治も、経済も先行き不透明で、平和と民主主義が揺らぎ、国民の願う明日を争うせめぎ合いが続いている、「今」
- そのもとで、東日本大震災が直撃した日本経済の不透明性とも相まって、損保再編「合理化」情勢がさらに深まる、「今」
- 収益拡大と事業効率の徹底した推進と業務適正化や営業督励の強まり、あらゆる面での数値管理・個人責任追求、働き方の変化、震災対応など、生活と雇用、労働条件の悪化による不安が増大する、「今」

そんな「今」だからこそ「集まって、何でも語ろう」「一人一言運動」で!

「一人一言運動」 とは

この「一人一言運動」は、組合員一人ひとりに、人間、損保労働者として生きている思いを、自由に、縦横に、語り合っ、書いてもらう運動です。
人が集まって、語り合っ、「やっぱりおかしい」、「本当にそう思う」、「こうしたらいいのに」というみなさんの声や思いを集めて、これからの運動につなげていきます。

具体的な すすめ方

秋の本部オルグから春闘に向けて運動をすすめます。支部・地協で目標をもって可能な限り多くの声を集めます。

- 地協では、本部オルグ、各種会議、「交流・共同の場」に集まって、語り合っ、自由に書いてもらおう
 - 支部・分会では、職場会、機関会議、学習会などで、今の思いを書いてもらおう
- 春闘アンケートも「一人一言運動」に位置付けてとりくみます。

過去4回の「一人一言運動」——その時代を働く仲間が語っています

第1回



「過当競争
—損保労働者5000人の証言」
(1981年2月発行)

第2回



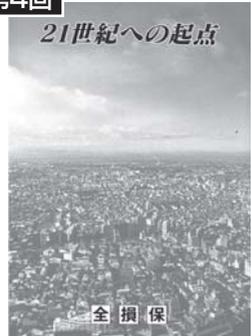
「損保労働者の原点
—1万人の証言」
(1988年2月発行)

第3回



「損保いまと明日」
(1995年8月発行)

第4回



「21世紀への起点」
(2000年8月発行)

今後の活動の土台とします

集められた声や思いを集約し、いまの時代の本質を明らかにして、今後の運動の土台とします。

この裏面に
一言用紙が
あります

いま、あなたが言いたいこと

あなたが一番言いたいこと、伝えたい思いを、今のこと、将来のことにかかわらず、どんなことでも記入してください。

ぜひ、具体的に、詳しく記入して下さるよう、お願いします。

記入された内容に関連する項目全てに○をお願いします

生活実態	労働実態、 長時間労働、 健康	職場の業務 運営・管理	過当競争・ サービス 競争の実態	会社施策	産業の あり方	働きがい、 生きがい	社会問題	東日本大震災	労働組合	その他
------	-----------------------	----------------	------------------------	------	------------	---------------	------	--------	------	-----

地協	分会	部門・職種など (営業、損調、本社、システム、営推など)	年齢	性別
支部	分会		歳	男・女